



千地申  
12号

## 「鎌取駅の業務委託」に関する交渉を行う！

地本は鎌取駅を業務委託する提案を受けました。

この間、駅の業務委託は「エルダー社員の雇用の場の確保」を前提とする一方、そこで働く組合員の労働条件の維持向上や、職場環境を整えるために労使議論の上で進めてきました。

地本は、組合員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる職場をめざすために、団体交渉を行いました。

### ■ 施策の目的と根拠、今後の業務委託について

- (組合) 業務委託駅として鎌取駅を選定した根拠を明らかにすること。
- (会社) 出札窓口があり、エルダー社員の活躍フィールドの拡大およびモチベーションの向上が図れること、資格を有する運転取扱い業務がないことなど、様々な要素を踏まえて委託することとした。
- (組合) この間、駅の業務委託は「エルダー社員の雇用の場の確保」を前提とする一方、組合員の労働条件の維持向上や、職場環境を整えるために労使議論の上で進めてきたが、今回もその点は変わらないか。
- (会社) 「エルダー社員の雇用の場の確保」という目的は、今までと変わらない。
- (組合) 今後の業務委託の考え方はどうか。
- (会社) 常時運転取扱いのある駅以外は全て対象になる。
- (組合) 2016年度申16号交渉で常時運転取扱いのある駅以外に、輸送の安定性や観光流動、業務波動などを鑑みていくということだったが、その考え方は抜けたのか。
- (会社) そういうことも鑑みていく。今回も(考え方は)変わっていない。

### ■ 教育について

- (組合) 業務委託後に、JR本体とは取扱いが変更になる業務内容について、教育を十分に行うこと。
- (会社) 必要な教育や訓練は実施していると認識している。委託した業務をしっかりと運営できるよう、基本的には見習いをつけて行っていく。
- (組合) ブロック内で助勤が発生する場合は、十分に教育を行うこと。
- (会社) ブロック内の助勤は発生するが、必要な教育や訓練は実施していると認識している。見習い期間は人にもよるが、十分に実施していく。

### ■ 施策実施後の体制について

- (組合) 鎌取駅のサービスレベルを低下させないために、施策実施後の要員体制は現行どおりとすること。また、車いすのお客さま対応やイベント等の波動業務に対応するため、日勤者を配置できるようにすること。
- (会社) 施策実施後もサービスレベルは低下させないが、イベントなどの波動業務対応はブロックで対応する。日勤者を増やすことは考えていない。しかし、業務委託後もサポートしていく。波動業務に対しても引き続き注視していく。

### ■ 施策実施に伴う異動、バックヤードの改善について

- (組合) 施策実施に伴い異動が発生する場合は、本人希望を最大限尊重して行うこと。
- (会社) 社員の異動については任用の基準に則り取り扱っている。社員の希望等に関しては個人面談で前広に把握していく。
- (組合) バックヤードの改善・整備を行うこと。
- (会社) 業務委託にあたり、事務室の清掃を行う。  
また、ロッカーの買い替え、椅子、机の調整を考えている。



「安全・健康・ゆとり・働きがい」の担保された駅を目指すため、  
 施策実施後の問題点・ご意見を地本へお寄せ下さい！